

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 17 No 8

193号

平成21年 8月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

子どもはスーパーマン!?

院長

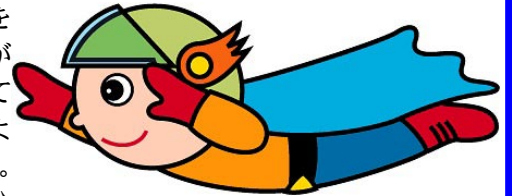
今回のテーマはちょっと変わっていますよね。どんな話になるか、楽しみにしてください。

皆さんスーパーマンという言葉に、どんなことを想像しますか。正義の味方、スーパーヒーロー?。スーパーマンは、崩壊の危機に瀕していたクリプトン星の執行官が自分の息子を救うためにカプセルを地球へ放出したことから始まります。放出した直後にクリプトン星は消滅してしまいました。放出されたカプセルはアメリカに墜ち、スモールヴィルに住むケント夫妻に拾われました。子どもが授からないケント夫妻は、身元も判らない子どもをクラークと名付け、愛情豊かに育てあげました。義理の両親から受けた素晴らしい愛情と不思議な能力に気付いたケントは、自分の能力を世のために役立てることを誓い、メトロポリスの大学卒業へ、その後皆さんご存知の日刊新聞社デイリー・プラネット紙に入社し、スーパーマンとケントとしての二重生活を送ることとなったのです。

果たして、スーパーマンの能力は遺伝であることには疑う余地はありません。しかし、人間性に関しては遺伝的な要素を受け継いでいるのか、環境の影響なのかははっきりしませんが、親の育て方によって子どもは大きな影響を受けると言うことです。氏より素性という言葉の意味をご存知ですか。意味は、家柄身分よりも、育った環境や教育のほうが、人格形成に強い影響を与えるので大切であるということです。ひとつ興味があるデータがあります。世話をするラット(ネズミの一種)と世話をしないラットに子育てさせると、子どもはそれぞれ世話をする、世話をしない大人になる。世話をしないラットに育てられた子どもを、世話をするラットに育てさせると、今度は世話をするラットに成長する。長らく子どもが授からなかった夫妻は、たっぷりとした愛情を注ぎ育てたことでしょう。

もうひとつ、ケントはスーツの下にいつもスーパーマンのコスチュームを着ていて、脱ぐだけで変身できるようです。スーツを現在の子どもの姿、コスチュームを子どもの未来の姿と考えてみませんか。子どもは成長し、いつか人格を持ったひとりの人間に成長するのです。子どもは自分

で着ているものを少しずつ脱ぎながら、自分の持っている姿に変身しようと思っている。親は子どもが自分



で脱ごうとしているのを、上手に手伝ってやるのが子育てである。無理やり脱がそうしたり、脱ごうとしているのを妨げることは、子どもの自発的な成長に悪影響を及ぼしかねない。無理やり脱がすことが放任であり、妨げることが過保護と例えるとよく分かるかもしれない。

スーパーマンはいつでも強いのでしょうか。時々親は子どもをスーパーマンと思い込んでいる節があります。何度か新聞でも取上げていますが、子どもは病気であっても元気、吐き気があっても食欲旺盛でなければと思っていいようです。子どもはスーパーヒーローではないのです。いつも強いばかりではられません。全戦全勝で、毎回バタバタと悪キャラを退治する訳にはいかないのです。大人と同じように、病気になれば元気がなくなり、食欲が落ちるのも仕方ないのです。その状況に合わせて、子どものすごしやすさを考えてあげるのが大人の役割です。外来で“歩ける程度の元気があれば食べなくても大丈夫、水分だけ気にして”といえます。水分の必要性は別ですが、食べたくなければ食べなくてもいい、元気がなければゆっくりさせてあげる。それは大人でも、して欲しいこと、つまりすごしやすさなのです。

子どもを心配して“なんで元気がない、なんで食べない”と視線を向けると、子どもにも心配している気持ちが伝わってしまいます。そんな目で見られた元気な子どもは、戸惑うに違いありません。病気の時には肉体的ストレスをこうむっています。肉体的ストレスに加えて精神的ストレスを与えるのは、子どもにとっては過酷なことです。子どもはお母さんの瞳に姿を映して、自分を見ています。瞳を見て安心できるような対応、病気の時に必要だと思います。

ついでに、もうひとつ。“おかしい”という表現がよく聞かれます。例えば“家ではぐったり病院では元気、おかしい”と。元気があることがおかしいはずはないことは誰でも知っているのですが、いいことは素直に受け入れる、悪いところは疑問を挟む。これが大切です。親はつい悪いところだけに目がいってしまいます。我々医師はよいところがあれば、まずは安心というスタンスです。本当に具合が悪ければ、よいところが出てこないはずです。家で元気がないぐったりしているのは、お母さんの心配を感じて余裕を持たないのかもしれない。

今回はスーパーマンから、様々なことを考えてみました。何かに役に立つことを祈りながら、終わりにします。

8月のお知らせ

・夏季休暇

8月17日(月)～22日(土)

詳細は2面に

・栄養育児相談

毎週水曜日 13:30～

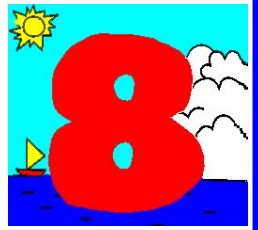
栄養士担当 無料



麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』

読者の広場

先月は10通のメールを頂きました。まずは、青葉区の沼田さんからのメールです。匿名の希望でしたが、無理言って実名にしてもらいました。「かわむら先生こんばんは。今日は、午前・午後とお世話になり ありがとうございます! 口の中が腫れて「痛い〜」とずっと泣いて水分もとれず心配しました。耳鼻咽喉科や小児専門歯科に行きましたが、腫れと痛みが治らず かわむら先生助けて下さい〜とクリニックに行きました。午後も泣いてクリニックへ行き、点滴をしていただきました。かわむら先生に「特別だよ(^-^)」と、好きなビデオを選ばせてもらい点滴をしながら観せてもらっただけでなく、診察の合間に先生が「どうだ?」と笑顔で様子を見に来て下さって 嬉しかったです。なんだかホッとしました(^-^) スタッフの方にも 沢山声をかけて頂き ありがとうございます。かわむらマジックは こういう事なんだな〜と、心の栄養を頂いて帰ってきました(^-^) 家に帰ってから水分がとれないので、またお世話になるかと思います。今日は本当にありがとうございました。口内炎から咬み傷ができて、痛くて泣いてばかりで水も飲まなくなったお子さんと、歯科での治療も含め精神的な要素も複雑にからみあっていました。本人の気持ちほぐすことが一番と考えて対応しました。連日点滴をして5日目のメールです。「かわむら先生こんばんは。おかげさまで、元気に水が飲めるようになり ご飯も食べられるようになり安心しました。点滴の途中で 何回も先生に声をかけて頂き、お昼休みでも看護婦さんが様子を見に来てくださったり スタッフの皆さんにお世話になりました(^-^) 感謝感謝です! 「もう大丈夫!」の先生の言葉は 本当に嬉しかったです(^-^) 帰りには、スタッフの方達が「良かったね」と笑顔で言うて下さって... なんだかクリニックを退院した気持ちになりました。治療だけでなく、気持ちの面でも援助して頂きありがとうございます。点滴をしながら クリニックでプリンを4個も食べられたのは驚きました! これからも またよろしくお願いします。」。年齢が上がってくると病気だけでなく、精神的な要素も関係し難しくなってきます。こどもの心を覗けないため、周りもイライラしますが、一番辛い思いをしているのは病気の本人というスタンスを忘れずに対応することが基本です。



続いては、多賀城市の金子さんからのメールです。「おはようございます。いつもお世話になっております金子翼の母です。昨日、ご連絡を頂き、今日、こども病院へのお手紙を取りに伺います。有難うございます(^_^) 本当は母だけ伺おうかと思っていたのですが、翼が「川村先生に手術の事聞きたい」と言う為、一緒に伺います。やはり、入院が近くなってきたら、かなり不安が大きくなってきたようで...(月曜の検査の時も大騒ぎで...) かなり心配しているみたいです。たぶん、本人は川村先生に大丈夫かどうかを聞きたいのかなあ... と母は感じました。あの通りですので(笑) 今日伺ったら、本人が話すと思いますがどうぞ宜しくお願いします。」。几帳面な性格な翼くんは、質問事項をしっかりとメモしてきました。ひとつ一つの質問に対して、相手を尊重していることを理解してもらうために、1対1で説明をしました。不安を解消して手術に望むことは、最初のメールのお子さんと同じで精神的ケアと言う点ではとても大切なことです。帰った後に「金子翼の母です。今日はお世話になりました。家に戻って、翼に「手術怖い無くなった?」と聞いたところ、「なんとか大丈夫!」と書いていました。本当に安心したようです。あんな調子の翼に、丁寧に説明していただいて、心から感謝感謝です。まだ、1週間ほど日にちがあるので、またお世話になるかもしれません(笑)が、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。」。不安を少しでも軽くすることは、信頼できる人の意見を聞くことや相談することです。来院前から本人が「川村先生に手術の事聞きたい」と思ったこと、信頼されていると感じてとてもうれしく思いました。我々は医療の面しか対応できませんが、頼れる人の一番はご両親です。今回のケースのように、お子さんとのいい関係を築きたいと思います。本当に、ありがとうございました。

夏季休暇並びに学会参加のための休診のお知らせ

- ・夏季休暇
8月17日(月)~22日(土)
- ・学会参加
8月28日(金)午後~29日(土)

長期間のお休みをいただき、ご迷惑をおかけします。休養の意味も含め、何卒ご理解の上、ご協力をお願いします。

お母さんクラブのご案内

毎年恒例の消防署の鎌田さんによる

「あなたは大丈夫!? 救急蘇生」を開催します。

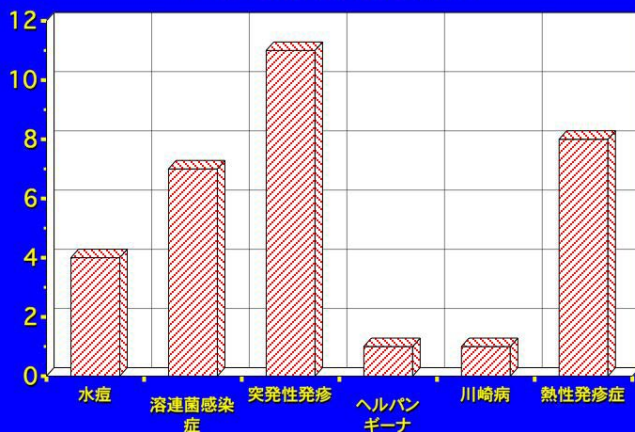
日時: 9月3日(木) 14:00から

場所: 福沢市民センター

会費: 200円

今回は、蘇生やAEDの体験のため、機器に限りがありますので、会員のみ参加となります。ご了承ください。

7月の感染症の集計



水痘は減少しましたが、溶連菌感染症は若干増加しています。嘔吐下痢症はまだみられますが、横ばいです。ヘルパンギーナ、手足口病など、いわゆる夏カゼが少ないのが特徴かもしれません。梅雨明けしていないためか、喘息が比較的多く、高熱と咳が目立つ気管支炎が多いという印象です。新型インフルエンザの疑似症例が1例でした。その後の感染の広がりが無いので、一安心です。

編集後記

心配をおかけした、首、肩の方は、かなり改善してきました。診療中もコルセットを外していることが多くなりました。7月下旬にMRIの検査をしましたが、心配な病気はないとのことで、安心しました。病は気からという言葉ではありませんが、結果を聞いてから改善に拍車がかかりました。夏休み少し長めですが、静養に努めたいと思っています。よろしく申し上げます。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』
Ⅲ期(中学1年生相当)、Ⅳ期(高校3年生相当)も忘れずに!